

公害防除特別土地改良事業
黒部2次地区が完成しました

安心・安全な食糧供給とともに県産米のイメージアップにつなげようと、平成3年より事業着手しました黒部市のカドミウム汚染田復元工事は、平成26年度の黒部2次地区の完成を持って事業完了となりました。平成27年2月15日に事業の完成を祝う完工式が挙行され、8月26日には、黒部地域第2回目の一部解除が告示となり、52.7haが指定解除されました。黒部2次地区では、用途区域内の汚染農地を復元しており、富山県内からカドミウム汚染田を根絶することができました。



黒部2次地区復元区域 黒部市三日市外

基幹農道整備事業
新川中部二期地区が完成しました

平成16年度から工事を進めてきた基幹農道新川中部地区は、平成27年3月8日に全線開通式を迎え、全区間(10.3km)供用開始となりました。黒部川扇状地を横断する地域の大動脈として、農産物の円滑な流通と北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」のアクセス道路の役割が期待されています。



基幹農道新川中部地区開通式

新規地区紹介

平成27年度から新たに3地区の県営事業がスタートしました。農村整備課が所管して工事を進めていきます。地元の皆さんのご協力をお願いします。

一・農地整備事業

(経営体育成型)

荻生南部地区 (黒部市)

- 昭和45年から52年にかけて営ほ場整備「荻若地区」で整備された水路の再整備及び排水不良が生じている農地の暗渠排水を行います。(旧土地総事業)
- (実施班) 農地整備第二班
- 総事業費 640,000千円
- 工期 平成27年度
- 受益面積 100.2ha
- 主要工事 平成32年度
- 用水路 L11.7km
- 暗渠排水 A11.5ha



荻生南部 (おぎゅうなんぶ)

二・農村地域防災減災事業

(ため池整備)

坪野長池地区 (魚津市)

堤体の脆弱化や漏水など、老朽化が著しい「ため池」の改修を行うとともに、併せて耐震性の確保を図ります。

(実施班) 水利防災班

- 総事業費 110,000千円
- 工期 平成27年度
- 受益面積 7.1ha
- 主要工事 平成29年度
- ため池改修 1式
- (堤体、洪水吐、取水施設)



坪野長池 (つぼのながいけ)

三・農村地域防災減災事業

(ため池整備)

七里池地区 (魚津市)

堤体に大きな陥没穴がみられ、安全性や貯水能力が損なわれている「ため池」の改修を行い、営農の安定を図ります。

現地視察

黒東合口用水右岸沈砂池

新幹線黒部宇奈月温泉駅

(黒部市地域観光ギャラリー)

右岸連絡用水浦山新

黒東第三発電所、

杉沢の沢スギ



右岸沈砂池

とやま水土里フォーラム
を開催します。

土地改良施設の維持管理活動に対する地域住民の意欲の高揚と県民への啓発を図るため、地域活動の事例紹介や基調講演、現地視察等が行われます。

【開催日時】

平成27年11月18日(水)

10:00~16:00

【開催場所】

入善町民会館

「コスモホール」ほか

※駐車場が限られていますので、

駐車場案内にご注意下さい。

【内容】

- ・とやま水土里賞表彰式
- ・知事賞受賞地区事例発表
- ・基調講演

「土地改良区は空前の灯火か、

それともかがり火か」(仮)

田園イニシアティブ(株)代表

金子照美氏



小水力発電を推進しています。

管内の小水力発電所の建設が相次いで始まり、起工式が行われました。完成後の土地改良施設維持管理費の軽減が期待されています。



七里池 (しちりいけ)

- (実施班) 水利防災班
- 総事業費 105,000千円
- 工期 平成27年度
- 受益面積 6.8ha
- 主要工事 平成29年度
- ため池改修 1式
- (堤体、洪水吐、取水施設)

現在、建設中の発電所

- 黒谷発電所 (450kW、魚津市)



小川用水地区安全祈願祭・起工式

平成27年度に完成した発電所

- 早月川沿岸第一発電所 (530kW、早月川沿岸)

(最大出力、関係土地改良区)

- 布施川用水発電所 (258kW、黒部川左岸)

- 舟子川発電所 (185kW、黒部川左岸)

- 浦山新発電所 (274kW、入善)

- 小川発電所 (190kW、朝日町)